

BK117D-2型ヘリコプタ (エアバス・ヘリコプターズ式)



2020
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2017年：初回登録

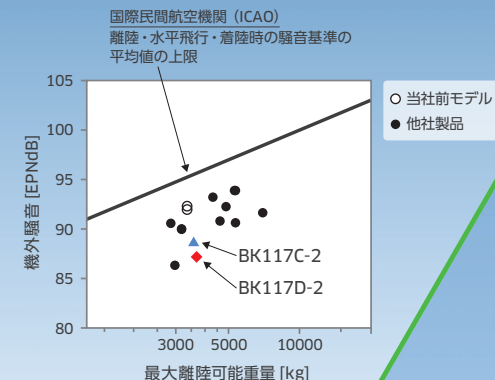
川崎重工業株式会社

クラス世界最高水準の低騒音化、および
ホバリング性能の向上や長寿命化を実現

新型テールロータ等の採用により、騒音面での改善や、オーバーホール間隔の大幅延長による長寿命化などライフサイクルにおける環境性能が大幅に向上。また、メイン・ギヤボックス定格伝達出力を向上させ、エネルギー効率を18%改善。



フェネストロンを採用し、ブレード枚数を増やし、騒音周波数を高くすることで、騒音を低減しています。またブレード間隔を不等間隔に配置することによりさらに騒音を打ち消し低減しています。



製品紹介

新型テールロータ等の採用により、クラス最高の静粛性を実現するとともに、高出力エンジンの採用やメイン・ギヤボックスの改良により、大幅にホバリング性能を向上させ、消防・防災・警察・救急医療・TV取材・人員輸送等、あらゆる用途に活躍できるヘリコプタ

特長

- クラス世界最高の低騒音化の実現
- 高出力エンジンの採用やメイン・ギヤボックスの改良にて、定格伝達出力を大幅向上
- テール・ギヤボックスのオーバーホール間隔をC-2型の1500時間から5000時間に大幅延長

